

都留市地名考

2

都留郡の名称

古代甲斐の国は、『和名抄』によると、山梨、八代、巨麻、都留の四郡からなっていた。
『甲斐国志』に、「殘簡風土記細註ニ云フ、都留郡或ハ連葛トアリ、連葛ハ藤蔓ノ如シ、富士山ノ尾サキ長ク連リタルヲ云フ、皆ナツルト訓ズベシ、」とある。
また、『大言海』に、「つる」蔓（古言つらノ転、連ノ意、朝鮮語、つる）と記されている。
『地名語源辞典』には、「都留



大幡つるぎの浅間山裾に祀る
向かって左白髭神、右浅間神のほくら

の語は朝鮮語「turum」と関係あるらしい。山梨県の都留郡は百済人が帰化して住んだところ（持統紀二年五月）と解説している。
しかし『日本書紀』に記す持統天皇の二年五月は百済の敬須徳那利が甲斐の国に移住したことが記されているが、都留郡とは明記していない。
「つる」とは朝鮮語で野・原野の意である。都留郡には百済安耶系よりむしろ新羅伽耶系の渡来人が数多く移住し、農業、機業、鉱業など産業文化の発展に寄与している。都留郡の郡名語源に深い関係があるものと考えられる。
高句麗・百済・新羅など古代朝鮮半島系渡来人とかかわりのある言葉に群（山の意）とか人里があり、信仰した神社に白髭神社、唐土神社がある。
都留市平栗に「大むれ」の字名があり、大幡の剣集落の近く浅間山の裾に白髭神が祀られている。また富士急バス宝鉾山行「平山下」バス停付近を「唐沢」といい、地元の人にはヘンポリと呼んでいる。

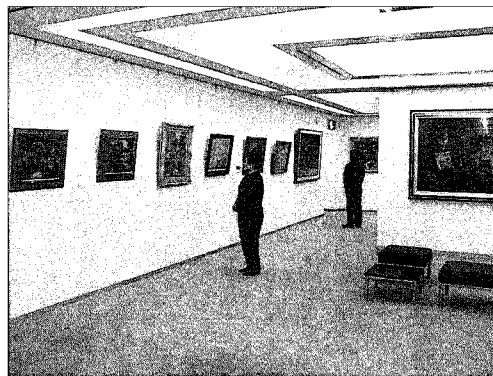
ふるさと会館

アートホールに

お出かけください

ふるさと会館二階のアートホールには、都留市名誉市民第一号増田誠画伯の当市所蔵作品の初期から後期までの作品や、今年のおふるさとカレンダーになった郷土の絵画まで二十六点あまりのほか、特殊版画のギリシア神話シリーズ十二点を併せて展示公開し、皆さまのご参観をお待ちしています。

ふるさとの生んだ国際的な画廊で活躍した増田誠画伯の作品をどうぞご鑑賞ください。
【展示公開時間】
午前9時30分～
午後4時30分



【休館日】
毎週月曜日
※この日が休日にあたる場合は除きます。
祝祭日の翌日

ふるさとの祭

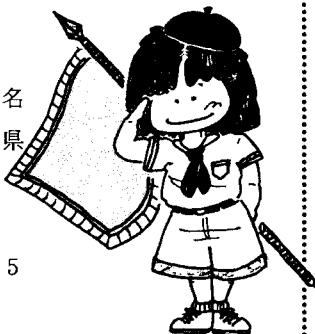
三月

- 7日 月おくれの初午
市内各地 特に普門寺の豊川稲荷は大規模である
- 10日 琴平さん 富春寺
- 24日 愛宕神社春まつり 九鬼
- 25日 落合天神社例祭 古川渡
子供相撲の奉納がある

ガールスカウト入団者募集

ガールスカウトは「自己開発」「人とのまじわり」「自然と共に」という三つの柱を基礎に少女が本来もっている創造性を引き出し、自立心を育て、社会に貢献出来る女性を育成することを目的としています。様々な体験ができ学校の勉強とは違う何かがあるはず。あなたもガールスカウトの一員になって新しい自分を発見してみませんか。

- 対象 新入学児童 10名
その他の学年 若干名
- 連絡先 ガールスカウト山梨県
第10団事務局
上谷2-4-8
長沼 ☎ (43) 3115
- 締切 3月末日



定式

河川・水路をきれいにしましょう 4月4日～6日

今年の定式は、4月4日から6日まで3日間行われます。物の取り除き作業を行ってくださるをお願いします。
家の中川水系（家中川・寺川・女川）の流水が止まりますので、個人的に補修工事などを行う場合は、あらかじめ建設課と協議してください。